

1 題材名 『絵から感じ取って、詩をつくろう(アクロスティックゲーム)』

2 題材のねらい 絵の題名又は、作者名を書き出し、絵から感じとったことを言葉に表すことで、豊かな感性を育てる。

3 指導目標 ・絵から形や色、イメージなどを感じ取るようにする [関心・意欲・態度]
・感じ取ったことを他の人に伝えるように言葉に表す。 [鑑賞の能力]

4 指導計画 (10～13分計画)

	学 習 活 動	留 意 点
導 入 5 分	(作品並べゲームなどの次の段階で実施) ・カードを全部絵の方を上にして、机の上に広げる。 ・「今、ゲームをやって、お気に入りの1枚が見つかったと思います。」 ・「1枚を選んでください。」	作品並べゲームをし、ある程度カードを鑑賞して、お気に入りのカードが選べるようになった後で実施します。
展 開 25 分	黒板に『絵から感じとったことを詩に表そう』と板書。 ・「カードの裏側を見てください。」 ・「作品名」と「作者名」が書かれています。 ・「どちらでもいいので、ワークシートの に一文字ずつ入れてください。」 ・カードの裏側には、作者の言葉など、ヒントがのっているので、それも参考にして、自分が感じたことを左側の文字を基にして、詩をつくる。	板書をして、必ずねらいをはなすようにする ワークシートを用意する。 左側に を7個程度書いておき、それに作品名又は、作者名を一文字ずつ記入させる。 形や色やイメージで、感じたことを、盛り込むようにするように伝える。 早くできた人は、作品名か作家名のもう一方でさらに、つくる。
ま と め 10 分	班で共有する カードを見せながら、班全員が発表する。 班で一番よかった人を選出する 全体で共有する	必ず、拍手をする。 多少、つじつまが合わなくても指摘はせず、感じたことが形や色やイメージの視点から盛り込まれていけばよしとする。